

## 平成 30 年度 第8回 政策決定会議 会議録①

- ◆開催日時:平成 30 年 12 月 21 日(金) 9:30~10:28
- ◆開催場所:市長公室
- ◆出席委員:永野市長、小山副市長、土佐副市長、樋口教育長

### ◆審議事項

- ・岸和田市まちづくりビジョン第3期戦略計画素案について……………企画課⇒一部修正の上、承認

### ◆審議概要

#### 『岸和田市まちづくりビジョン第3期戦略計画素案について』

〈説 明 者〉藤浪企画調整部長、上東企画課長、中井担当長、井元主任、上田担当員

◎説明者から、案件及び政策調整会議における議論の内容を説明し、政策調整会議にて本件一部確認の上、承認された旨、報告。

※案件内容は付議依頼書に基づき説明。政策調整会議における議論内容は、以下のとおり説明。

#### 【政策調整会議における議論内容】

- ① 「人口 10 万人当たりの自殺者数」の指標については、自殺予防対策事業に基づき設定しているが、センシティブな項目であるため、指標の変更又は目指そう値の変更については、担当課(健康推進課)と協議のうえ、政策決定会議にて報告することを確認。また、その他の指標においても同様に、生命に関わるセンシティブな指標が含まれていないか政策決定会議にて報告することを確認。  
→(1)「人口 10 万人当たりの自殺者数」の指標を利用することについては、国において、自殺対策の目標指標として「自殺死亡率(人口 10 万人当たりの自殺者数)」が数値目標に掲げられており、府では数値は設定せず「自殺者数が減少すること」のみを目標設定にしている。担当課に確認したところ、「自殺死亡率(人口 10 万人当たりの自殺者数)」は、自殺対策の主要指標であるため、「この指標を使うことが最もよい」ということであった。また、本市は、数値による進行管理を行っており、国の指標と同一の指標を利用することにより、市の現状把握、進行管理に役立てることができると考え、また、目指そう値の設定については、国の数値目標を踏まえ、13.0 を達成することを目指し、設定した。  
(2)担当課(健康推進課)においては、【仮称】岸和田市自殺対策推進計画について、2020 年 4 月から 5 箇年の計画の策定に向けて取り組んでおり、総合計画での目標値設定(2021 年に 13.0)を目指しながら、設定することになる。  
(3)目指そう値を 0 に設定することについては、同様の議論が、府の審議会において議論されたが、府では目標値を設定せず「減少すること」のみを目標設定している。そのため、目標値を 0 にするという事は、国の数値目標、府の目標からは考えにくい。  
(4)その他の指標で生命に関わるようなセンシティブな指標については、第2期から設定している指標になるが、「所在不明児童生徒数の数」は現状値 0 人、目指そう値 0 人であるこ

と、また、差別や犯罪の件数、交通事故件数に関する指標はあるが、その他、人の生死に関連する指標はない。

以上4点について決定会議にて報告。

◎説明後、質疑応答

〈市 長〉自殺者数は、市内での発生数か。市民の自殺者数か。

〈企画課長〉市内での発生数である。

〈土佐副市長〉自殺対策推進計画は既にあるものを変更するのか。それとも新規で策定するのか。

〈企画課長〉今はない。新規で策定する。

〈土佐副市長〉そこにも同じようにこの指標を用いるのか。

〈企画課長〉まだ決定ではないが、恐らく用いることになるかと思う。

〈小山副市長〉指標が市内の発生数に基づくとするならば、「市民一人ひとりが健康づくりに取り組み、心身の健康が維持されている」という目指す成果が、市民に対する目標としては繋がらないと思うので、指標としては削除してもよいのではないかと。

〈企画調整部長〉削除するのはひとつの案であると思うが、今後自殺対策推進計画を策定する際には本指標が議論になるかと思うので、そこでは何かしらの形で載らざるを得ないのではないかと。

〈土佐副市長〉その時は審議会での意見を聞いてどのように扱うか考えていただきたい。

〈教育長〉本指標を入れる目的は、「市民一人ひとりが健康づくりに取り組み、心身の健康が維持されている」状態を目指すためであるので、本指標を入れるべきかどうかは難しいところである。入れるのであれば、先ほど示された数字と目指す値は減少するというぐらいの表現がいいのではないかと。それを市民が見た時に納得していただけたらいいのではないかと。

〈市 長〉大事なことは、市民が見て違和感なく理解できることであり、自殺対策そのものがこの指標を出さずに行うことができるのであればそれでいいのではないかと。そのような対策を施策としてやっているのであれば、項目立ててやらなくてもいいのではないかと。本指標は削除してよいのではないかと。

〈企画課長〉自殺対策推進計画の策定に向けて、鋭意進めているところであり、計画における指標の設定についても、今後議論がなされる状況ということである。そのため、個別計画での策定議論を進める中で、指標の設定及び進行管理についての議論を深めていただくことが最適であると思うので、今回は指標の記載を削除するという方向でよいかと考える。

〈土佐副市長〉本案件について、一部修正の上、承認してよいか。

【異議なし】

⇒本件を一部修正の上、承認する。



付議会議	平成30年度 第8回会議
付議事項	岸和田市まちづくりビジョン第3期戦略計画素案について

★取組の目的

対象	市民、議会、行政
どのような状態を目指す	本市のまちづくりは、岸和田市まちづくりビジョンに基づいて進められている。そのうち、中期的なシナリオに位置付けられているのが戦略計画であり、第3期戦略計画が、平成31年度からスタートする。市長任期も考慮した計画期間になっているので、市長の市政運営の基本方針などに基づき、計画を策定し、4年間の市政運営の方向性を示す。

★総合計画上の位置付け

202010201	基本目標	Ⅱ-2 適正で、分かりやすい行財政運営をする
↑ここにコードを入力 (コードは「総計体系」を参照)	達成された姿	(1)行政の責務が果たされていることを市民が実感できている
	目指す成果	②明確な目標設定と評価により行政運営が行われている
	行政の役割	ア 目標の達成に向けて、計画的な施策の推進と適正な進行管理に努める

★現状と課題

これまで第2期戦略計画の進行管理のため、行政評価(事務事業評価)などが行われてきた。特に、総合計画のPDCAサイクルの実効性を担保するため、平成28年度に事務事業評価制度の見直しを行い、総合計画と事務事業評価のひも付けを強化している。これらを基に、事務局が計画案を作成し、総合計画審議会の審議を経て、市として決定がなされることになる。市長任期を考慮した4年に1回の見直しであるので、市長の市政運営の基本方針等を反映した計画づくりが求められる。

(単位:千円)

実施中の取組及び予定する事項	決算(見込額)		予算額	見込額				
	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	H34年度	H35年度
第2期戦略計画の進行管理	14							
第3期戦略計画の策定		261	1,389					
第3期戦略計画の進行管理				14	14	14	14	
第5次総合計画の策定				100	8,000	8,375	9,055	
財源内訳	国費							
	府費							
	起債							
	一般財源	14	261	1,389	114	8,014	8,389	9,069
	その他							
事業費			計	H31年度	H32年度	H33年度	H34年度	H35年度
			25,586	114	8,014	8,389	9,069	0

★当該事項に関連する人員増の必要性\*

人員増の必要性	H31年度	H32年度	H33年度	H34年度	H35年度
有	0	1	1	1	0
無					

★取組の効果を表す指標

指標名	単位	H28年度	H29年度	H30年度	目標値				
					H31年度	H32年度	H33年度	H34年度	H35年度
①									
②									

※事業費及び人員を確約するものではない。